

～「今、あなたに伝えたい・・・名古屋国道」～



平成24年 10月 3日
国土交通省 中部地方整備局
名古屋国道事務所

桜通自転車道の走行性満足度約80%!

～桜通自転車道 開通1年後の調査結果～

1. 概要

名古屋国道事務所では、より安全・快適な自転車・歩行者空間の確保を目指して、平成23年6月25日に日銀前交差点から桜通大津交差点間の上下線（区間延長約800m）において、自転車・歩行者・自動車を分離した自転車道を開通しました。このたび、開通後1年のアンケート調査の結果をとりまとめましたのでお知らせします。

なお、今後は、データ分析結果を踏まえ、自転車利用者をはじめ、地域の代表者や学識経験者等をメンバーとした「国道19号桜通自転車安全利用協議会」で、より安全・快適な自転車走行空間の検討を進めていきます。平成24年10月9日に「第12回 国道19号桜通自転車安全利用協議会」を開催します。

2. ポイント

■自転車道の走行性に対する満足度

・「非常に満足」「やや満足」合わせて約80%と自転車道の走行性に対する満足度は高い。

■自転車道整備後の安全性に対する満足度

・「自転車」の満足度が最も高く、「非常に満足」「やや満足」合わせて約80%、「歩行者」は約60%。

■車線削減に伴う混雑発生の有無

・桜通などの混雑発生に関する評価では、「変わらない」「気にならない程度」が合わせて約90%。

■乗り入れ部における安全性

・乗り入れ部の安全性に対する評価については「危険な状況にあった」が約60%。要因としては、『自転車が見にくい』『自転車が双方向通行のため』等の意見があった。

■自転車道における安全性

・「すれ違い時の危険な状況」「速度差のある自転車の混在による支障」への指摘がそれぞれ約20%。要因としては、『すれ違い時にぶつかりそうになる』『遅い自転車を追い抜くことができない』等の意見があった。

3. 資料

別添資料1（桜通自転車道 開通1年後のアンケート調査結果）

別添資料2（第12回 国道19号桜通自転車安全利用協議会の開催について）

別添参考資料（桜通自転車道 開通1年後の調査結果 H24.8.1公表資料）

4. 配布先

中部地方整備局記者クラブ

5. 問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局 名古屋国道事務所

事業対策官 いとう ひろふみ
伊藤 博文

（電話 052-853-7327 FAX 052-853-7334）

幹線道路の異状を発見したら・・・

道路緊急ダイヤル 緊急通報#9910へ

1. 自転車道の概要

(1) 自転車道整備の背景・目的

国道19号桜通では、歩行者と自転車が輻輳することで、双方が危険を感じる状況が発生していました。

そこで、自転車の安全利用を目指すため自転車利用者をはじめ、地域の代表者や学識経験者などの皆さんで通行方法や構造などの検討を重ね、自転車道の整備をしました。

今回は、自転車道開通1年後のアンケート調査結果をとりまとめました。

(2) 自転車道の概要

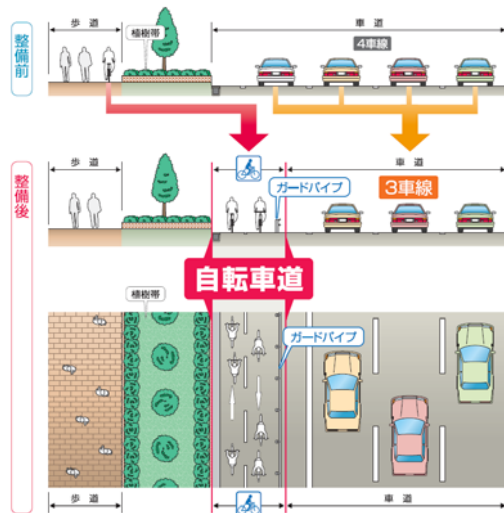
車道を減少し、車道上に自転車道を設置しました。

■供用開始：平成23年6月25日（土）

■実施区間：国道19号 日銀前交差点～桜通大津交差点



■整備内容：車道を片側4車線から3車線に減少し、車道上に自転車道を設置



■整備前後の状況

○整備前



○整備後（1年後）



2. 開通1年後のアンケート調査結果

(1) 自転車道の走行性に対する満足度

- ・自転車道の走行性に対する満足度は高く、「非常に満足」「やや満足」合わせて約80%。
- ・「やや不満」「不満」と回答した方の理由の多くは『区間が短い』『対向車とすれ違う際、危険だと感じる』『走行しにくい箇所がある』であった。

<走行性に対する満足度>

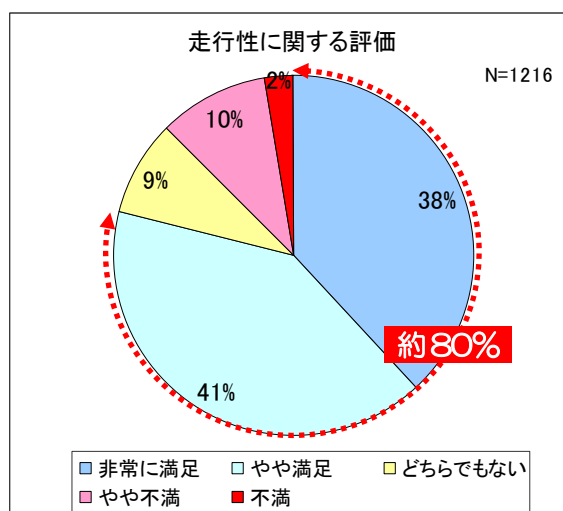


図1 走行性に対する満足度

(2) 自転車道整備後の安全性に対する満足度

- ・自転車道整備後の安全性に対する満足度は「自転車」が最も高く、「非常に満足」「やや満足」合わせて約80%。
- ・次いで、「歩行者」が高く、「非常に満足」「やや満足」合わせて約60%。
- ・「やや不満」「不満」と回答した方の理由の多くは『通行方法を守らない自転車が多い』『自転車の通行マナーが悪い』であった。

<安全性に対する満足度>

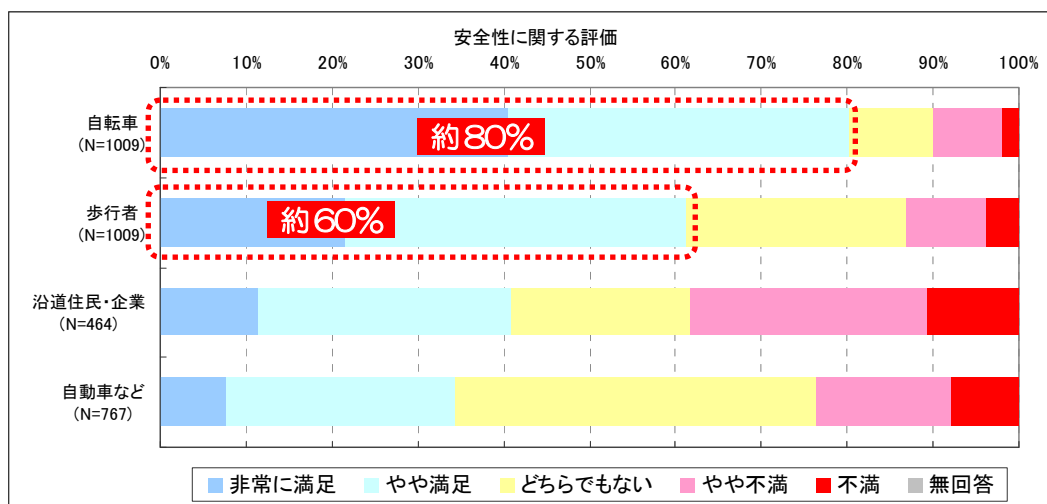


図2 安全性に対する満足度

(3) 車線削減に伴う混雑発生の有無

- ・自動車による桜通及び並行する路線の混雑発生に関する評価では、「変わらない」「気にならない程度（の混雑）」が合わせて約90%。

<混雑に対する評価>

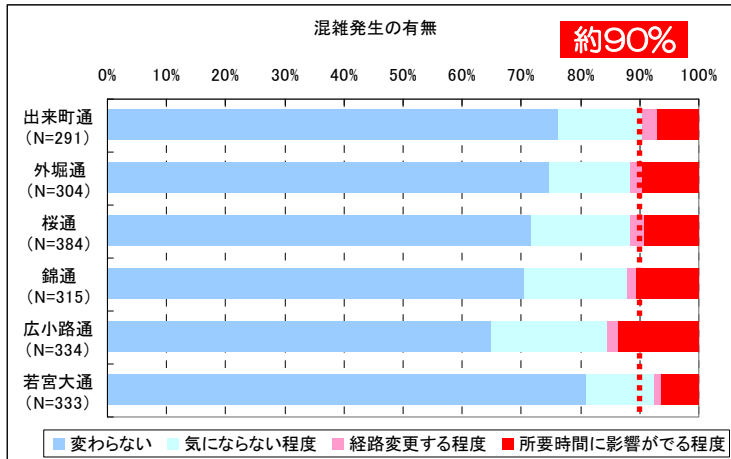
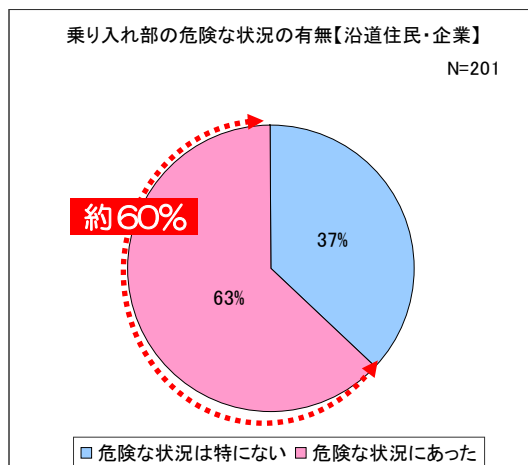


図 3 混雑発生に対する評価

(4) 乗り入れ部における安全性

- ・乗り入れ部の安全性に対する評価については「危険な状況にあった」が約60%。
- ・要因としては、『自転車が見にくい』『自転車が双方向のため』等の意見があった。
⇒更なる安全性向上のための対策が必要と考える。

<乗り入れ部の安全性に対する評価>



【乗り入れ部の危険な状況の要因】

- ・自転車が見にくい。
- ・自転車が双方向通行のため（注意が倍必要）
- ・自転車のマナーが悪い。
- ・自転車の走行速度が速い。

※アンケート調査結果の自由意見

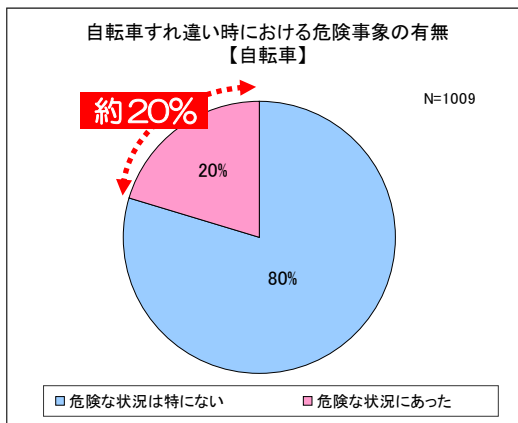
図 4 乗り入れ部における安全性に対する評価

(5) 自転車道における安全性

- ・自転車道の安全性に対する評価として、「すれ違い時の危険な状況があった」が約20%。
 - ・また、「速度差のある自転車の混在による支障があった」との回答も約20%。
 - ・要因としては、『すれ違い時にぶつかりそうになる』や『遅い自転車を追い抜くことができない』等の意見があった。
- ⇒更なる安全性向上のための対策が必要と考える。

<自転車道の安全性に対する評価>

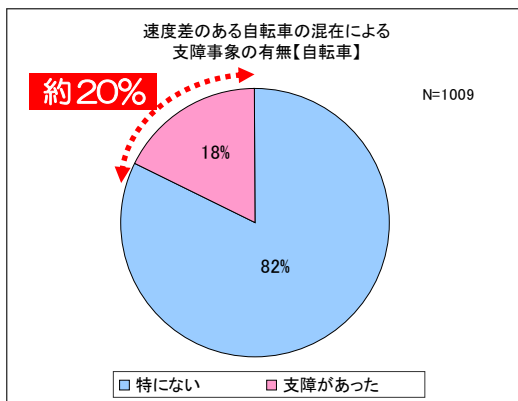
○すれ違い時の危険事象



【自転車すれ違い時における危険事象の要因】

- ・すれ違い時にぶつかりそうになる。
 - ・走行車線を守らない自転車がいる。
- ※アンケート調査結果の自由意見

○速度差のある自転車の混在による支障事象



【速度差のある自転車の混在による危険事象の要因】

- ・遅い自転車を追い抜くことができない。
 - ・追い越し時に対向自転車とぶつかりそうになり危険。
- ※アンケート調査結果の自由意見

<参考：アンケート調査の概要>

■アンケートの目的及び主な項目

- ①発現している整備効果の確認（安全性、走行性の満足度など）
- ②自転車道に関する課題の検証（安全性、走行性など）
- ③車線削減に関する課題の検証（混雑発生の有無、車線減少部の安全性など）
- ④自転車道の更なる改善のための基礎データの収集（延伸の必要性、課題への対応策など）

■アンケート調査の対象、調査日時、回収数

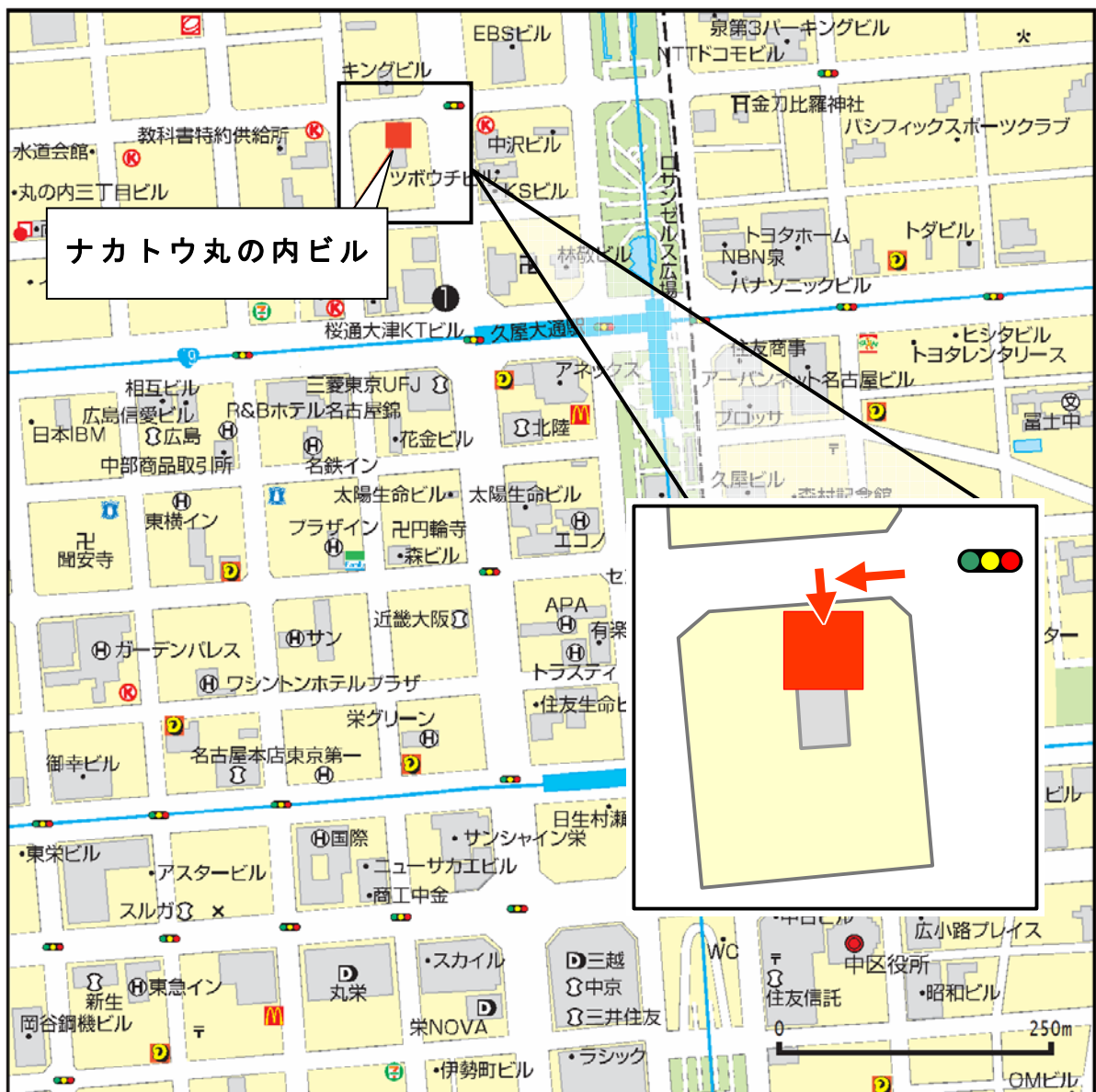
対象	調査方法	調査日時	回収数 ※（ ）内は回収率
自転車利用者	現場でのインタビュー形式	平日：8月28日、29日	1,009票
歩行者		休日：9月1日、2日	1,009票
自動車ドライバー	WEBアンケート	8月24日～9月27日	433票
沿道住民・企業	訪問配布 郵送回収	8月22日～9月27日	477票(36%)
タクシー運転手	郵送配布 郵送回収	8月22日～9月27日	117票(73%)
バス運転手	郵送配布 郵送回収	8月22日～9月27日	138票(69%)
荷捌き車両ドライバー	現場でのインタビュー形式	8月29日	81票

別添資料2：第12回 国道19号桜通自転車安全利用協議会の開催について

- 1) 日時：平成24年10月9日（火）15：00～
- 2) 場所：ナカトウ丸の内ビル 2階 第1会議室（下図参照）
〒460-0002 名古屋市中区丸の内3丁目17-6
- 3) その他：協議会は公開で行いますが、
カメラ撮影は冒頭挨拶までとさせていただきます。

■会場へのアクセスのご案内

- ・地下鉄でお越しの場合
地下鉄久屋大通駅下車①番出口より徒歩約3分



1. 自転車道について

(1) 自転車道の交通量

- 整備後1年の自転車道の交通量は、整備直後（整備後1ヶ月）と比較して約2割増加しています。（図1）
- 特に、桜通呉服断面においては、整備後最も多い約3,000台の自転車交通量（7時～19時の12時間）が観測されました。（図1）

<自転車道の交通量>

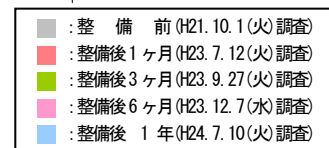
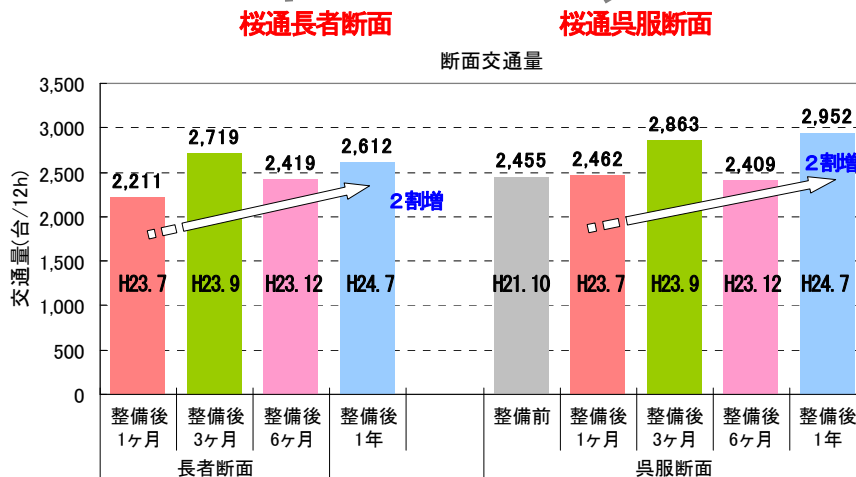


図1 自転車道の交通量

(7時～19時の12時間)

(2) 自転車道の利用率

■整備後1年における自転車道の利用率(自転車が自転車道を利用する率)は8割以上、通勤時間帯(7~9時)では9割以上となり、整備直後(整備後1ヶ月)よりも向上しています。(図2)

<自転車道の利用率>

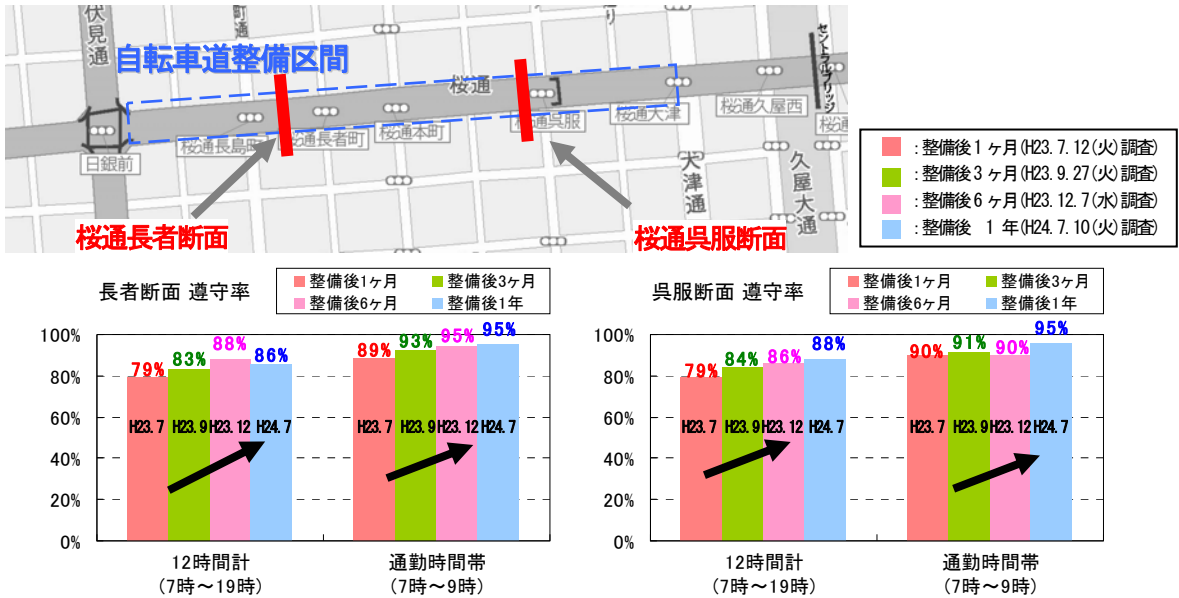


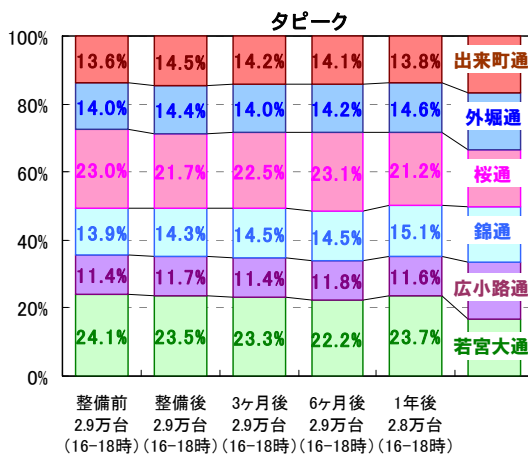
図2 自転車走行空間の利用率

2. 車線削減について

(1) 並行路線との交通量の分担状況

■自転車道の整備に伴い、車線を削減しましたが、ピーク時交通量の分担状況は、これまでの調査時と同様、大きな変化は見られず、国道19号(桜通)の交通が他の路線に回るような変化は見られませんでした。(図3)

<並行路線との交通量の分担状況>



※調査日：整備前 H21.10.1(木)、整備後1ヶ月 H23.7.12(火)、
整備後3ヶ月 H23.9.27(火)、
整備後6ヶ月 H23.12.7(水)、整備後1年 H24.7.10(火)
数字は、6路線の合計交通量(16時~18時)



図3 並行路線との交通量の分担状況